

2016年度 近江兄弟社高等学校 学校評価

本年度の重点目標  
(概要)

- ・建学の精神のもと「いのちを大切にす教育」をすすめる。
- ・平和を希求し人類愛に富む知性豊かな国際人を育成する。
- ・生徒理解に努め、個性を伸ばす行き届いた教育を目指す。
- ・主体的な学びの態度を育成し、学力の伸長に努める。
- ・自主・自治の精神、社会性・集団性を養うため自主活動を重視し、スポーツ・文化活動も奨励する。
- ・「連携教育」を柱に。本物の教育を追求する。

領域	重点評価項目	自己評価	総合評価	備考
1 学校経営	学校の教育方針や教育目標について理解が得られるような取り組みをしている。	A	A	教職員・保護者
	学校の教育方針や教育目標が実現できるよう、特色ある教育活動をしている。	A	A	教職員・保護者
2 学習指導	シラバスにそって、計画的でわかりやすい授業展開につとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	指導力を高めるために、公開授業・研究授業・校内外の研修につとめている。	A	B	教職員・保護者
3 生活指導	基本的な生活習慣の確立や挨拶などの指導を行っている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	生徒の規範意識を育む指導を行っている。	A	A	教職員・生徒・保護者
4 進路指導	生徒個々に応じた適切な進路指導につとめている。	B	A	教職員・生徒・保護者
	面談等で生徒の学力分析、興味・関心・適正に応じた進路選択ができるよう取り組んでいる。	A	A	教職員・生徒・保護者
5 特別活動等	生徒会活動を通じて自主自律の精神を育成すると共に生徒の自覚や連帯感を育てている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	生徒会行事の意味やねらいを理解し、生徒の意識高揚につとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
6 学校図書館等	学校図書館を計画的に利用し生徒の学習活動の充実につとめている。	B	A	教職員・生徒・保護者
	図書館の情報を提供し、利用を促進するようつとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
7 保健指導	生徒の健康観察につとめるとともに、適切な対応をおこなっている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	学校だより「地の塩」等を活用して健康安全に対する意識の向上につとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
8 人権教育	いのちを大切にす教育、豊かな心や人権が尊重されるクラスづくりや学校づくりにつとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	いじめや暴力のない集団づくり、学校づくりにつとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
9 環境教育	生徒に環境について考えさせたり、リサイクル運動などの指導を行っている。	B	B	教職員・生徒・保護者
	清潔な環境づくりのため清掃活動につとめ、美化意識を向上するため努力している。	A	A	教職員・生徒・保護者
10 事務・管理	個人情報保護や管理に注意を払い、文書管理等を適切に行っている。	B	A	教職員・生徒・保護者
	教育に関わる施設・設備の保全や学校環境の整備につとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
11 その他 学校の取り組み	教育活動をホームページや学校だより等を通してわかりやすく伝えている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	保護者からの連絡や相談などに丁寧に対応するようつとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	PTA活動等に積極的に取り組み、保護者が授業・行事などに参加できるようつとめている。	B	A	教職員・生徒・保護者

(注) ・評価表の見方

6月 学校の教育目標に基づいた評価項目の公表

12月 評価の実施(12月までの教育活動に対する評価)

3月 総合評価の公表(年間の教育活動に対する総合評価)ABCDの4段階評価で示す。

・評価者は教職員、生徒、保護者、その他学校関係者による。(項目によりすべての評価者によらない場合がある)

・ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。